企業・団体名（ 株式会社ニチワ工業 ）

（様式第３号）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件２）

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働		【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	・企業行動基準に基づき、基本的人権を尊重、擁護している。また、2回／年以上、個人面談を実施し、差別がないことを確認している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2			【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	・企業行動基準において、ハラスメント行為の禁止を明文化している。また、”ハラスメントは許しません”を社内に掲示し啓蒙活動を実施している。 ・社員からの相談窓口として、管理部が対応している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3			【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	・長時間労働の基準を設け、社内において該当者を常にトレースし、指導している。 ・多能工化、工程作業の省力化を進めている。								8.5 8.8									
4			【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	・国際的に宣言された基本的人権及び労働基本権に基づき、外国人労働者への適切な処遇や労働環境の整備を行っている。（面談、意見交換会の開催など） ・2023年現在、社員の20%前後を雇用している。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5			【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	・安全衛生委員会で、1回／年、会社トップによる安全パトロールを実施し、労働災害・事故ゼロ件を推進している。 ・職場環境に応じてPPE(個人防護具)を装着して作業を行っている。			3					8									
6			【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	・全社員を対象に、1回／年、ストレスチェックを実施し、産業医による面談等々、指導、フォローを行っている。			3														
7			【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	従業員に占める女性の比率43%、技能実習生を含めた外国人は19%、高齢者は12%、障害者1名を雇用し、多岐にわたり活躍できる環境を整えている。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8			【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	・人事評価制度を導入し、人材育成、能力開発に努めている。（検定試験、異業種交流会、管理者研修　他）				4	5.5			8	9								
9			【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	・労働内容に沿った賃金規定を定めている。					5.5			8.5		10.2 10.3							
10			【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	・健康経営優良法人2023（経済産業省・中小規模法人部門）を取得している。			3					8									
11	環境		【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	・廃棄物処理法を厳守し、環境実績推移表(月単位)において、廃棄物量(一般ごみ、汚泥、廃プラスチック、リサイクル)を把握し、管理している。											11.6	12.4		14.1			
12			【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	・環境目標に”電力消費削減(2022年度に対し、2.0%の削減)”を全社目標として、削減に努めている。							7.3						13				
13			【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	・工場に太陽光パネルを設置し、グリーン電力の使用に努めている。 ・クリーンルーム内は省エネ型パッケージエアコンを設置している。							7.2 7.3					12.4	13.3				
14			【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	・ISO14001に基づき、化学物質管理、製品含有化学物質管理を実施している。			3.9			6.3					11.6	12.4					
15			【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	社外への有害物質の漏洩、工場排水に悪影響を及ぼす物質が含有しないよう排水処理施設の設置、pH値等監視している。						6.6									15		
16			【３Ｒの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	・廃棄物の適正処理とリサイクル化に取り組んでいる。												12.5		14.1			
17			【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	・工場用水は井水を利用し、環境実績推移表(月単位)において、井水、上水を管理している。						6.4 6.6											

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
18			【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	・ISO14001（2002年）、エコパスポート（2023年）を取得している。			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19			【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	・HPで環境情報を公開しており、今後、SDGsの取組みをHPに開示していく。												12.6					
20			【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	・工場に太陽光パネルを設置し、グリーン電力の使用に努めている。 ・既に事務所、工場の照明はLEDに更新している。							7.2						13				
21			【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	・工場用水は井水を汲み上げ管理しており、上水の利用を最小限にしている。 ・コピー用紙は再生紙を活用している。												12.2	13	14	15		
22	公正な事業慣行		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	・企業行動基準に基づき、フェアでクリアな企業活動を実施している。																16 16.5	
23			【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	・企業行動基準に基づき、フェアでクリアな企業活動を営み、公正な競争を実施している。																16	
24			【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	・特許、実用新案登録制度を活用し、知的財産権の取得、管理を行っている。								8.2 8.3	9								
25			【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	・企業行動基準に基づき、プライバシーを保護し、個人情報の保護を実施している。 ・社員のマイナンバーは適正に管理している。																16	
26			【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	・顧客からの依頼による紛争鉱物調査に協力している。 ・現在、当社は取扱い対象外ですが、今後も取り扱う予定はありません。																16	
27			【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	・企業行動基準に基づき、サプライヤーとの関係において、常に公正であることを維持している。 ・サプライヤーと情報共有し、人権侵害、ハラスメント等の防止について取り組んでいる。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
28	製品・サービス		・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	・超純水製造装置、クリーンルームを保有している。 ・品質マネジメントシステムを構築し、徹底した品質管理を行っている。			3.9									12.4					
29			【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	・ISO9001（2000年取得）に基づく品質マニュアルを作成し、品質管理システムを構築している。									9								
30			【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	・製品の開発・設計は行っていませんが、リサイクル部品の活用、省電力機器の導入、更新等を行っている。						6						12	13	14	15		
31			【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	・長野県SDGs推進企業登録制度に参加し、社会課題の解決に取り組んでいく。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

		非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
32	社会貢献・地域貢献		【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	・商工会議所、精密工業連合会に参加し、地域振興に貢献している。 ・会社周辺の騒音測定、排水処理設備の導入、pH値の測定を行い、周辺地域の環境に配慮している。				4					9		11	12		14	15		17
33			【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	・茅野市クリーンウオーク(4回／年)に参加し、地域住民と一緒に活動し、環境保全、美化を推進している。 ・社員が地域のPTA、清掃活動等に積極的に参加している。				4							11			14	15		17
34			【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	・地域人材の雇用に対して、継続的な雇用に努めている。								8	9		11	12	13				
35	組織体制		【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	・経営理念、経営方針を明文化し、社内に浸透させている。								8	9								17
36			【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	・品質方針／環境方針において、法令順守(コンプライアンス)の重要性を常に全従業員に対して発信している。																16	
37			【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	・環境管理責任者、公害防止責任者を任命し、CSR活動を推進している。																16	
38			【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	・ステークホルダー(利害関係者)との窓口を設置し、常に対話に努めている。																16	17
39			【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	・品質／環境マネジメントシステムにおいて、リスクを洗い出し、マネジメントレビューで議論している。 ・不良品、不適合品に対し、原因究明と是正処置を実施し、社内で情報共有している。																16	
40			【社会的責任】 ・ＣＳＲ（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	・品質方針／環境方針において、法令順守(コンプライアンス)の重要性を常に全従業員に対して発信している。																16	
41			【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	・BCPを想定した危機管理マニュアル、新型ウイルス感染症危機管理マニュアルを作成し、緊急事態に備えている。									9		11		13 13.1			16	
42			【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	・サクセッションプラン(後継者育成計画)を作成し、取り組んでいる。								8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）

・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）